

県営浅虫水族館 電話交換機外改修工事

設 計 図

2026年 5月

青森県観光交流推進部観光政策課

株式会社 中嶋五郎設計事務所

県営浅虫水族館

電話交換機外改修工事

電気特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

青森市大字浅虫字馬場山 地内

2. 建物概要

建物名称	構 造	階 数			建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備 考
		地上	地下	塔屋				
県営浅虫水族館	鉄筋コンクリート造	2	1	2	8,593 m ²	(16)項イ	一般の施設	

3. 工事種目

（●印の付いたものを適用する。）

工事種目	工 事 種 別				備 考
	建物別及び屋外			屋 外	
○ 電灯設備					
○ 動力設備					
○ 電気自動車用充電設備					
○ 電熱設備					
○ 雷保護設備					
○ 受変電設備					
○ 電力貯蔵設備					
○ 発電設備					
○ 構内情報通信網設備					
● 構内交換設備	改修一式				
○ 情報表示設備					
○ 映像・音響設備					
○ 拡声設備					
○ 誘導支援設備					
○ テレビ共同受信設備					
○ 監視カメラ設備					
○ 駐車場管制設備					
○ 防犯・入退室管理設備					
○ 火災報知設備					
○ 中央監視制御設備					
○					
○					
○ 構内配電線路					
○ 構内通信線路					
○					
○					

4. 指定部分

●なし
○あり 範囲： 工期：令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
● 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	○ 1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速（V ₀ = ） 地表面粗度区分（ ） ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（ ）
	○ 2. 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
	● 3. 機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 名

LED照明器具（一般屋内用に限る。）
照明制御装置
可変速運転用インバータ装置
分電盤
制御盤
キュービクル式配電盤
高圧スイッチギヤ（CW）
高圧スイッチギヤ（PW）
高圧交流遮断器
高圧変圧器（特定機器）
高圧進相コンデンサ
高圧限流ヒューズ
高圧負荷開閉器
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）
監視カメラ装置
中央監視制御（監視制御装置）

注＊ JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤ（図 ～ ）を含む。
JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤの製造業者等は、上記（2）①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ（CW）/（PW）【＊を付した機材名を記載】について上記（2）①～⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、「①品質及び性能に関する試験データを整備していること。」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

（1）本工事に於いて、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。
（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
（1）設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
①設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。
設計用標準水平震度

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○ 配電盤 ○ 発電装置（防災用） ○ 直流電源装置
○ 交流無停電電源装置 ● 交換装置 ○ 自動火災報知受信機
○ 中央監視制御装置 ○ ○
②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。
（3）1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。

○ 7. 石綿含有製品調査

イ）撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲（○ ）
調査方法（○型番確認の上、製造者ヒアリング）
ロ）下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、○本工事 ○別途 とする。
○
※ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。（ 図参照）
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行
○ 材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。）
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ 仮設間仕切り
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種
○ 既設部分の養生
● 行う（●ビニルシート等 ○ ）
○ 行わない
50Hz
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に walkthrough 調査を行い、監督職員に報告する。
また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。
イ）放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ）範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
イ）あと施工アンカー 接着系アンカー（接着剤（有機系））
金属拡張系アンカー（本体打込み式）
性能確認試験 ○ 行う ※ 行わない
施工後確認試験 ○ 行う ※ 行わない
機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。
施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。
イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
○ 下記壁類の改造等は、製造者等による作業とする。
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○
○ 壁類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 壁類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。
各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 照明制御装置 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備
○ 発電設備 ○ 駐車場管制設備 ○ 防犯・入退室管理設備
○ 中央監視制御設備 ○ ○

○ 13. 撤去跡の補修

○ 14. 既存施設等の復旧

○ 15. 支持金物
・固定金具

○ 16. 既存壁の改造

○ 17. 総合動作試験

○ 18. 電線
・ケーブル

○ 19. ケーブルの種類

○ 20. ケーブルの接続

○ 21. 厚銅電線管

○ 22. 合成樹脂製可とう管

○ 23. 電線本数、管路など

○ 24. インサート

○ 25. フラッシュプレート

○ 26. フロアプレート

○ 27. 監視制御システムのケーブル

○ なし

外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
対策機器（○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤
○ 通信キャビネット ○ ）
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

○ 26. 接地極の種類及び位置表示

イ）撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲（○ ）
調査方法（○型番確認の上、製造者ヒアリング）
ロ）下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、○本工事 ○別途 とする。
○
※ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。（ 図参照）
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行
○ 材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。）
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ 仮設間仕切り
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種
○ 既設部分の養生
● 行う（●ビニルシート等 ○ ）
○ 行わない
50Hz
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に walkthrough 調査を行い、監督職員に報告する。
また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。
イ）放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ）範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
イ）あと施工アンカー 接着系アンカー（接着剤（有機系））
金属拡張系アンカー（本体打込み式）
性能確認試験 ○ 行う ※ 行わない
施工後確認試験 ○ 行う ※ 行わない
機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。
施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。
イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
○ 下記壁類の改造等は、製造者等による作業とする。
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○
○ 壁類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 壁類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。
各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 照明制御装置 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備
○ 発電設備 ○ 駐車場管制設備 ○ 防犯・入退室管理設備
○ 中央監視制御設備 ○ ○

○ 13. 撤去跡の補修

○ 14. 既存施設等の復旧

○ 15. 支持金物
・固定金具

○ 16. 既存壁の改造

○ 17. 総合動作試験

○ 18. 電線
・ケーブル

○ 19. ケーブルの種類

○ 20. ケーブルの接続

○ 21. 厚銅電線管

○ 22. 合成樹脂製可とう管

○ 23. 電線本数、管路など

○ 24. インサート

○ 25. フラッシュプレート

○ 26. フロアプレート

○ 27. 監視制御システムのケーブル

○ なし

外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
対策機器（○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤
○ 通信キャビネット ○ ）
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

○ 26. 接地極の種類及び位置表示

○ 27. 塗装

○ キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ
※ 製造者の標準色仕上げとする。
○ 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。
○ 屋外 ○ 屋内（○ ）
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
（○居室 ○ ）
図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFp板（スタイロフォーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない

○ 28. 機器取付高さ

○ 29. 保温、結露防止

○ 30. 呼び線

○ 31. 本受電後の基本料金

各 設 備

○ 1. タンブラスイッチ

○ 2. OAフロア用配線器具の差

○ 3. ハネシヨイント用OAケーブル

○ 4. 人感センサ用プレート

○ 5. タミナエリ付リモコンリレー

○ 6. LED照明器具

○ 7. 一般照明の照度測定

○ 8. 分電盤

○ 9. 制御盤

ネーム付きとする。
○ アルミ製 ○ 樹脂製
特記の無いハネシヨイント用OAケーブルは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜形）×4 コド3m（ケーブル付）通電表示灯付
照明の人感センサ制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室： ○ 便 所（計 枚）○ （計 枚）
天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。
LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（L N）」とする。
照度測定箇所は監督職員との協議による。
○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。
○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF22）を1本、5個以上の場合（PF22）を2本、天井まで立上げる。
配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表2「機器取付高さ」

機 器	測 点	取付高(mm)	機 器		測 点	取付高(mm)		
			電 話	電 話				
共通	積算用計器	地上～	1,800～2,000	電 話	集合保安装置	天井～上端	200	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200		端子盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	
電 灯	分 電 盤	床上～中心	(上限1,900以下)	時計 拡声 表示等	壁付電話機	床上～中心	1,300	
	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300		壁付フットレイト（一般）	床上～中心	300	
	スイッチ（ハネフリードリ）	床上～中心	1,100	壁付フットレイト（和室）	床上～中心	150		
	スイッチ（和室）	床上～中心	1,200	ホィンタ	壁掛形時計	床面～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	コンタクト（一般）	床上～中心	300		壁付時計	床上～中心	天井高×0.9	
	コンタクト（和室）	床上～中心	150	壁付形ステッカー	床上～中心	天井高×0.9		
	コンタクト（台上）	床上～中心	150～200	壁付フットレイト	床上～中心	1,300		
	コンタクト（原形）	床上～中心	800～1,000	情報表示盤	床上～中心	天井高×0.9		
	コンタクト（車庫）	床上～中心	1,300	壁付発信機	床上～中心	1,300		
	コンタクト（機械室）	床上～中心	500～1,000	ハル、フ、チ、イ、ム	床上～中心	2,300		
動 力	コンタクト（屋外）	地上～中心	1,000～1,300	テレビ	壁付押ボタン（一般）	床上～中心	1,300	
	フットレイト（一般）	床上～中心	2,100～2,300		テレビインターホン（親器）	床上～中心	1,400	
	フットレイト（踊場）	床上～中心	2,000～2,500	テレビインターホン（子機）	床上～中心	約1,350		
	フットレイト（鏡上）	鏡上端～中心	150	壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,300		
	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	力 保 護	壁付フットレイト（一般）	床上～中心	1,300	
		開閉器箱	床上～中心		1,500	機器収容箱	天井～上端	200
	制御用スイッチ	床上～中心	1,300	雷 保 護	機器収容箱(EPS)	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	
		試験用接地端子箱	床上～下端		800	テレビ端子（一般）	床上～中心	300
	受変電	接地端子箱	床上～中心	500	火災報知	テレビ端子（和室）	床上～中心	150
						受信機	床上～操作部	800～1,500
請 購 支 援 等				ガス検知器	機器収容箱	床上～操作部	800～1,500	
					発信機	床上～操作部	800～1,500	
	呼出しボタン（ハネフリードリ用）	床上～中心	900、400 (各1個)	検査	発信機	床上～操作部	800～1,500	
	壁付インターホン（親機）	床上～中心	1,300		表示灯	床上～中心	2,100	
	壁付インターホン（子機）	床上～中心	1,100	警報ベル	床上～中心	2,300		
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床上～中心	1,300	液化石油ガス用（軽貨）	天井～上端	300		
	スイッチ（車庫子用）	床上～中心	1,100	都市ガス用（軽貨）	天井～上端	150		
	コンタクト（車庫子用）	床上～中心	900	都市ガス用（重貨）	床上～上端	300		

備考）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

その他 遵守すべき事項

1. 請負者は、常に施設等の安全に留意して、水族館の営業等に支障のないよう、必要な処置を講ずること。

2. 作業が水族館営業時間外になる場合は、警備対応を講ずること。

3. 作業中生じた一切の事故及び損害は、請負者が負うものとする。

4. 工事内容に応じ必要諸官庁届出がある場合は、請負者の責任の基で対応すること。

5. 本仕様書に定めのない疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

※ 本仕様書に記載されなくとも明らかに必要なものは、請負者の責任の基速やかに対応すること。

備 考

株式会社 中嶋五郎設計事務所
青森県知事登録 A1 第900号

事務所 〒030-0861 青森市長島4丁目2番18号
TEL:017-723-3501 FAX:017-723-3502

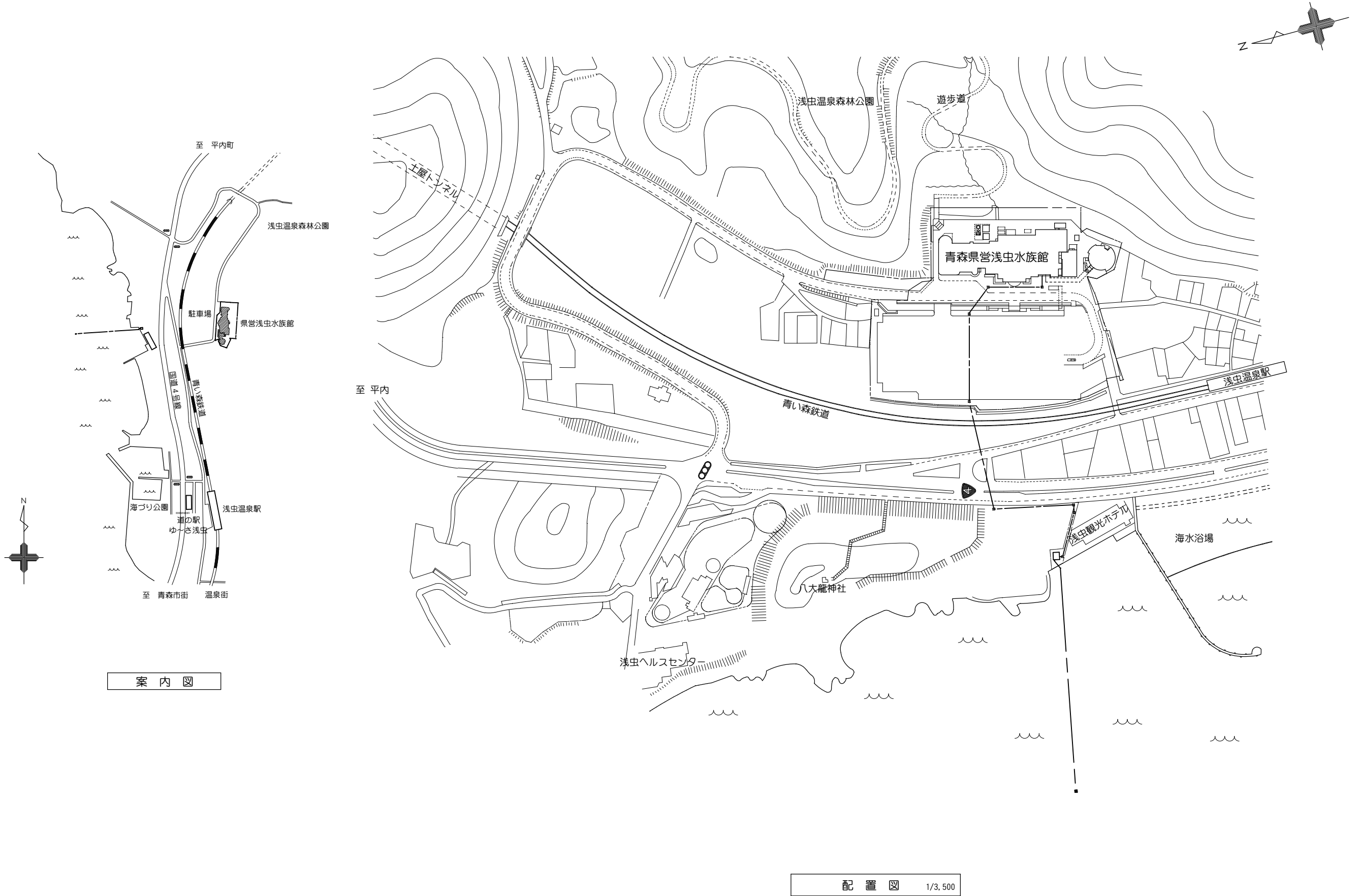
設計年月日 2026.05

No. E-01

工事名 県営浅虫水族館 電話交換機外改修工事

図面名称 電気設備 特記仕様書

SCALE



備 考



株 式 会 社 中 嶋 五 郎 設 計 事 務 所

青森県知事登録 A1 第900号

事務所 〒030-0861 青森市長島4丁目2番18号
TEL: 017-723-3501 FAX: 017-723-3502

設計年月日

2026. 05

No.

E- 02

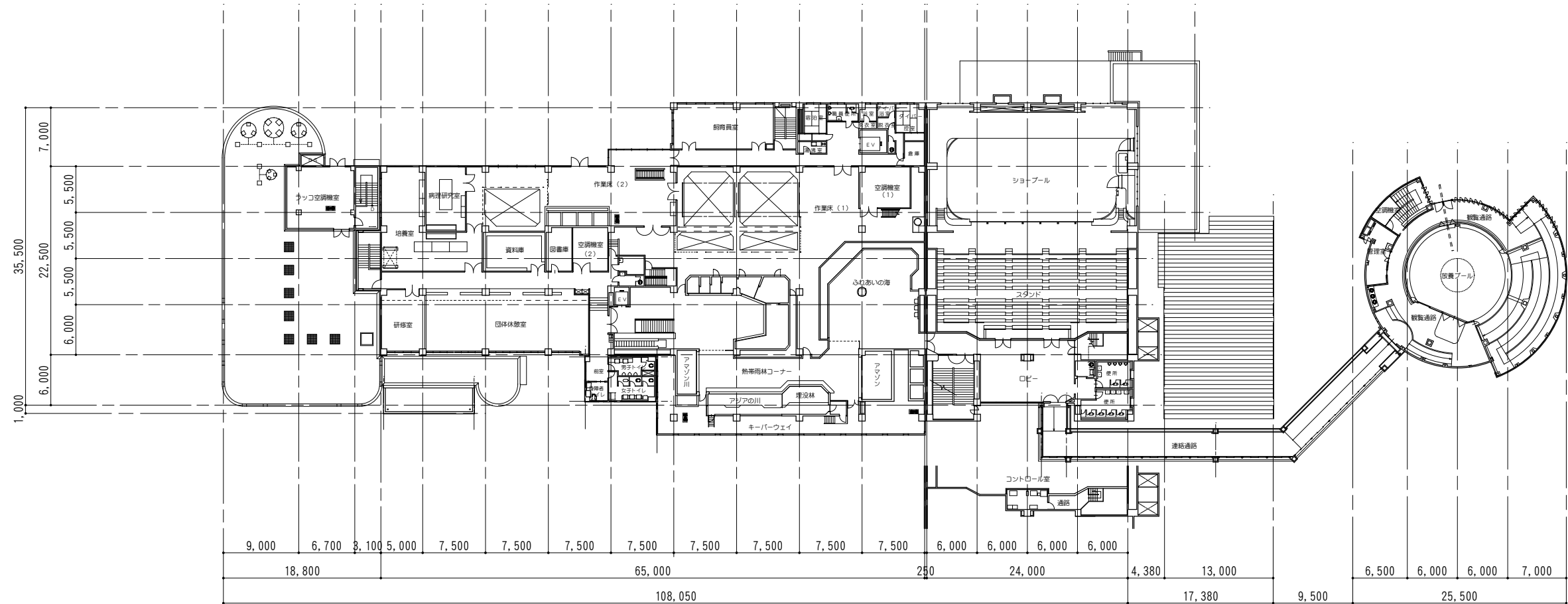
工 事 名

県営浅虫水族館 電話交換機外改修工事

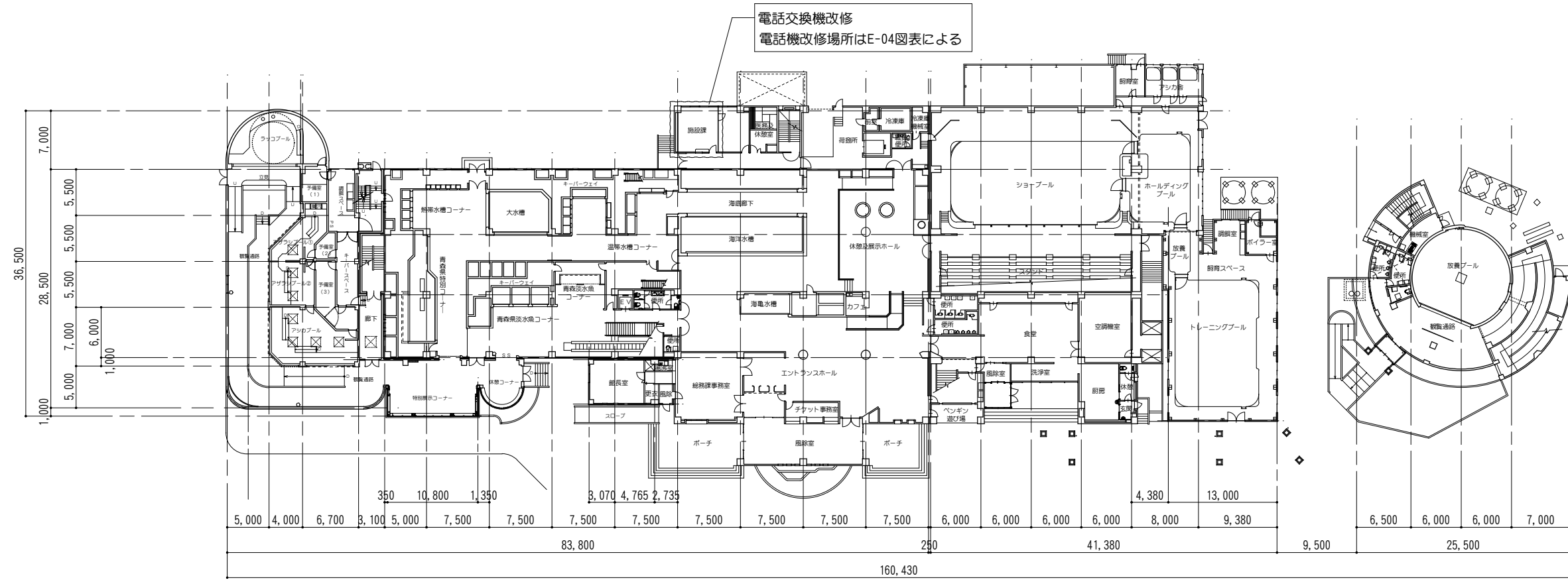
図面名称

配置図・案内図

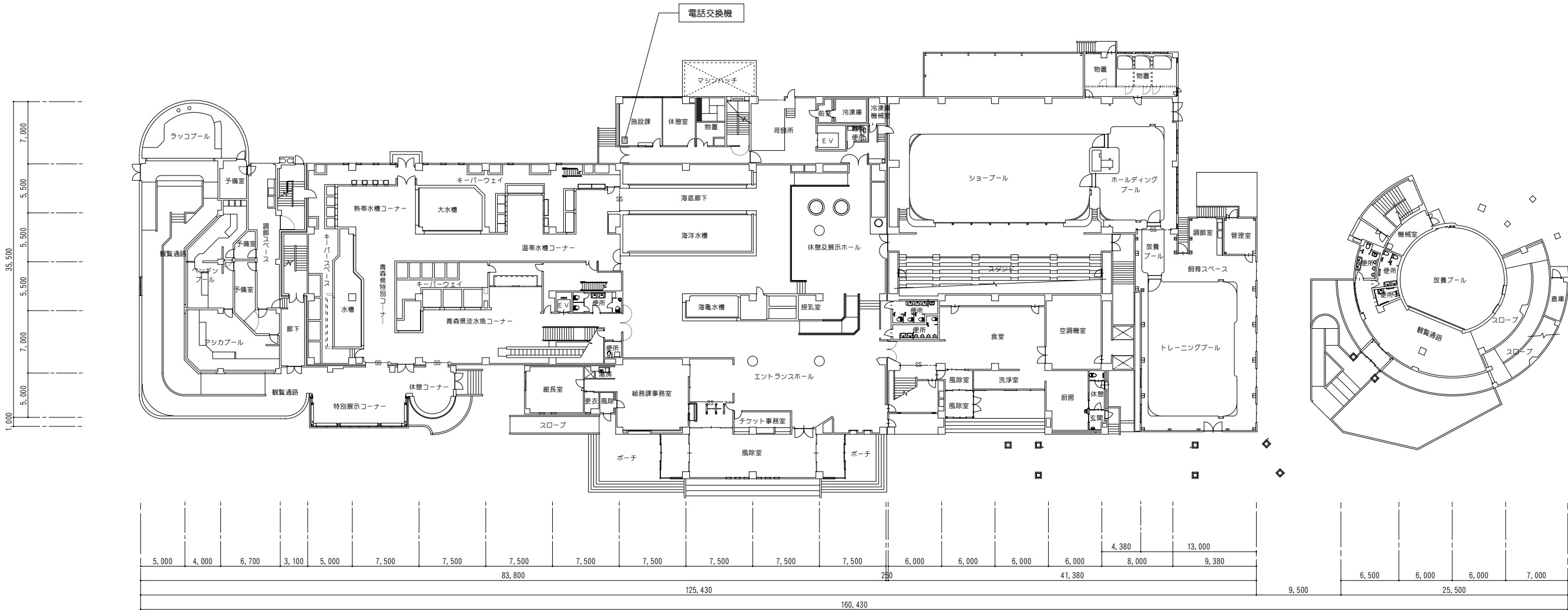
SCALE
1/3, 500



2階 平面図 1/600



1階 平面図 1/600



1階 平面図 1/500

機 器 表			
品 名	参考型式・規格（日立）	数 量	備 考
デジタル電話交換機	MX-01V2 CCUA	1台	アナログ局線： 4 回線実装
			多機能内線： 1 6 回線実装
			一般内線： 3 2 回線実装
			停電用バッテリー3時間搭載
			ナンバーディスプレイ対応 (要NTT契約)
標準型多機能電話機	HI-24G-TELSDA	13台	2 4 ボタン、保留ボタン、転送ボタン、オンフックボタン
HI-A4 II 電話機 (GW)	HI-A4 II (GW)	11台	再ダイヤルボタン、保留ボタン、フッキングボタン付
HI-A4 II 用壁掛け金具	HI-1.3WMP	2個	
HI-R01SD電話機 (W)	HI-R01SDWH	15台	フッキングボタン付 ホワイト
HI-R01壁掛用品	HI-R01WMP	15台	

標準型多機能電話機		
階	部 屋 名	台 数
1	館 長 室	1
	総 務 室	8
	売 店	1
	施 設 課	1
2	研 修 室	1
	飼 育 員 室	1
	合 計	13

HI-A4 II 電話機 (GW)		
階	部 屋 名	台 数
1	チケット窓口	1
	施 設 課	2
	トレーニングプール	1
	公 社 控 室	1
2	飼 育 員 室	2
	ダイバー控室	1
	宿 直 室	1
	イルカ館（壁掛け金具）	2
	合 計	11

HI-R01SD電話機 (W)		
階	部 屋 名	台 数
B1	電 気 室	1
	ボイラー室	1
	自家発電機室	1
	海獣館 機械室	1
1	厨 房	1
	トラック搬入口	1
	海獣館キーパ室	1
2	資 料 室	1
	図 書 室	1
	病 理 検 査 室	1
	培 養 室	1
	空調機械室1・2	2
	コントロール室	1
	海獣館 空調機械室	1
	合 計	15

備 考



株 式 会 社 中 嶋 五 郎 設 計 事 務 所
青森県知事登録 A 1 第 9 0 0 号

事務所 〒030-0861 青森市長島4丁目2番18号
TEL:017-723-3501 FAX:017-723-3502

設計年月日

2026.05

No.

E - O 4

工 事 名 県営浅虫水族館 電話交換機外改修工事

図面名称 電話交換機改修図 電話機改修表

SCALE
1/500